

こくみん共済 coop 〈全労済〉「たすけあい」に関する意識調査を実施！ ～日本人の8割が「たすけあいがあふれる社会」を望むも、 「社会がたすけあいにあふれている」と回答したのはわずか3%～

こくみん共済 coop 〈全労済〉（全国労働者共済生活協同組合連合会 代表理事理事長：廣田政巳）は、「たすけあい」に関する意識調査を行いましたので、その結果をお知らせいたします。

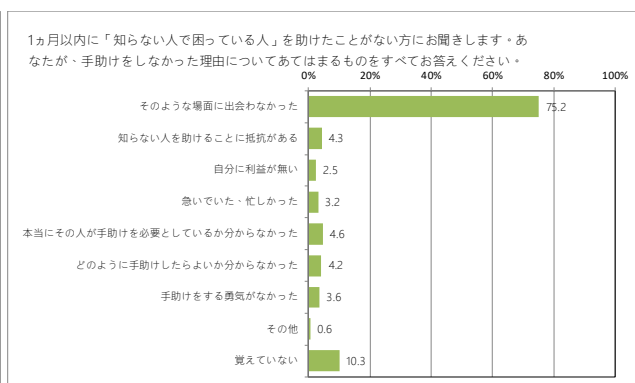
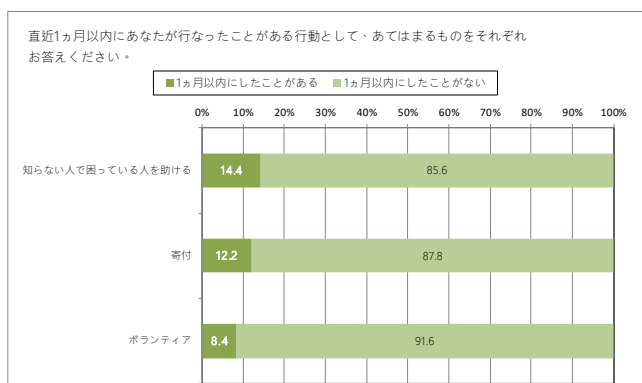
【主な調査結果】

- ・「たすけあいがあふれる社会」に対しては共感する人が77.2%と多い。
- ・「社会がたすけあいにあふれている」に「そう思う」と回答した人はわずか2.9%。
- ・過去1ヵ月以内に「知らない人で困っている人を助けたことがある人」は14.4%と低い結果に。
- ・「知らない人で困っている人を助けたことがない理由」は「そのような場面に出会わなかった」が75.2%と最多。
- ・「知り合い」でも「知らない人」でも日本人は「たすけを求める」のが苦手。

イギリスのチャリティー団体「Charities Aid Foundation(CAF)」発表の「World Giving Index 10th Edition」によると、「過去1ヵ月以内に『見知らぬ人、あるいは、助けを必要としている見知らぬ人を助けたか』」という調査で、日本は最下位の125位でした。

※Charities Aid Foundation「CAF World Giving Index 10th Edition」(October 2019)より引用

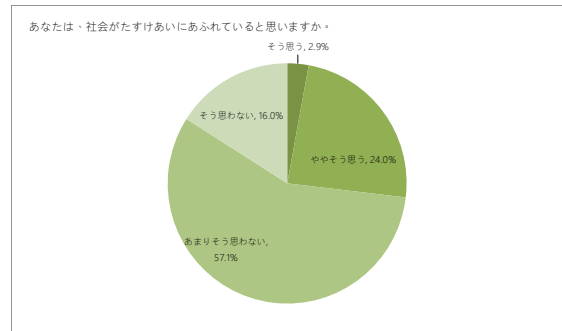
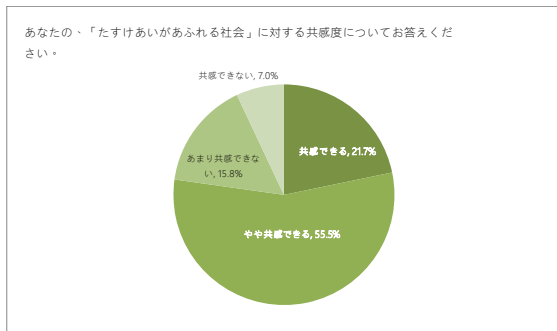
今回の調査においても「過去1ヵ月以内に『知らない人で困っている人を助けたことがある人』」の割合は、14.4%と低い結果となりました。しかしながら、助けたことがない理由は「そのような場面に出会わなかった」が75.2%と最も多いことから、困っている他者に冷淡なわけではなく、困っている他者に出会っていない（または気づいていない）だけではないか、と調査結果から見て取ることができます。



また「たすけあいがあふれる社会」に対して共感する人の割合は77.2%と高く、日本を「たすけあいがあふれる社会」としていくための活動を広めていける可能性を感じることができます。

一方で、「『社会がたすけあいにあふれている』と思いますか」という質問に対して、「そう思う」と回答した人はわずか2.9%という結果となりました。この結果から、約8割の人が「た

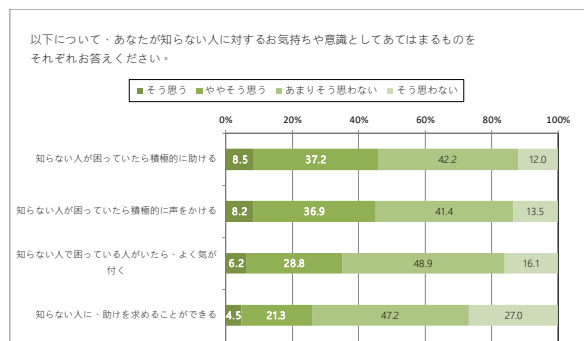
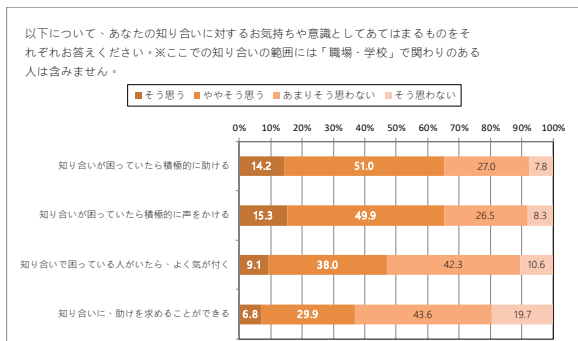
すけあいがあふれる社会」に共感しているという事実と、73.1%の人が「社会がたすけあいにあふれている」とは思えないという事実との間に、大きなギャップが存在することが浮き彫りとなりました。



現状は、多くの方が「社会がたすけあいにあふれている」とは思っていない日本ではありますが、「知り合い」「知らない人」、それぞれに関して「たすけあい」に対する気持ちや意識を調査してみると「知り合い」に対しての方が「たすけあい」に前向きであることが見て取れます。

また「知り合いに、助けを求めることができる」に「そう思う」と答えた人は6.8%、「知らない人に、助けを求めることができる」に「そう思う」と答えた人は4.5%とどちらも低く、日本人は自ら「助けを求める」ことが苦手ではないか、と見て取ることができます。

「たすけあいがあふれた社会」を実現していくための一つの方法として、気軽に「助けを求め」ることができる環境作りが必要となってくるのかもしれませんが。



こくみん共済 coop は、昨年10月から「たすけあいをもっと気軽に楽しいものにできたなら、より過ごしやすく、あたたかい社会になるのではないか」という想いで「ENJOY たすけあい」プロジェクトを実施しています。本調査結果を受けて、「ENJOY たすけあい」の活動を普及し、日本が「たすけあいにあふれた社会」となるための一助となるよう、取り組んでまいります。

<ENJOY たすけあい>



<渋谷駅ハチコーボード2への広告掲出> ※2/1~2/14まで



全労済から
「こくみん共済 coop」へ

たすけあいの輪をむすぶ

調査概要

1. 調査内容

「たすけあい」に関する意識調査

2. 調査方法

(1) 調査対象：日本国内に居住する15歳～79歳の男女

① 性別（単位：人）

男性	女性
1,482	1,518

② 年齢（単位：人）

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
182	362	463	553	466	550	424

③ 居住地域（単位：人）

北海道・東北	関東	中部	関西	中四国	九州
342	1,029	544	490	262	333

(2) 実施期間：2020年1月23日～1月27日

(3) 調査手法：インターネット調査

(4) 有効回答数：3,000

3. 結果

Q1. 以下のうち、あなたは、どこからが「知り合い」だと思いますか						
全体	挨拶を交わす程度	顔または名前を知る程度	顔と名前が一致する程度	お互いに面識がある	付き合いがある	左記にはない
3,000(人)	337	377	323	745	1,062	156
100.0 (%)	11.2	12.6	10.8	24.8	35.4	5.2

Q2. あなたは、「知り合い」が多いですか					
※「職場・学校」で関わりのある人は含まない	全体	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
	3,000(人)	152	622	1,323	903
	100.0 (%)	5.1	20.7	44.1	30.1

Q3. 以下について、あなたの知り合いに対する気持ちや意識としてあてはまるもの					
※「職場・学校」で関わりのある人は含まない	全体	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
	知り合いが困っていたら積極的に助ける	3,000(人)	427	1,529	811
	100.0 (%)	14.2	51.0	27.0	7.8
知り合いが困っていたら積極的に声をかける	3,000(人)	459	1,498	795	248
	100.0 (%)	15.3	49.9	26.5	8.3
知り合いで困っている人がいたら、よく気が付く	3,000(人)	274	1,139	1,269	318
	100.0 (%)	9.1	38.0	42.3	10.6
知り合いに、助けを求められることができる	3,000(人)	205	897	1,307	591
	100.0 (%)	6.8	29.9	43.6	19.7

Q4. 以下について、あなたが知らない人に対する気持ちや意識としてあてはまるもの					
	全体	そう思う	ややそう思う	あまりそう 思わない	そう思わない
知らない人が困っていたら積極的に助ける	3,000(人)	255	1,117	1,267	361
	100.0(%)	8.5	37.2	42.2	12.0
知らない人が困っていたら積極的に声をかける	3,000(人)	245	1,108	1,241	406
	100.0(%)	8.2	36.9	41.4	13.5
知らない人で困っている人がいたら、よく気が付く	3,000(人)	186	864	1,466	484
	100.0(%)	6.2	28.8	48.9	16.1
知らない人に、助けを求めることができる	3,000(人)	135	639	1,417	809
	100.0(%)	4.5	21.3	47.2	27.0

Q5. 以下について、あなたの気持ちや意識としてあてはまるもの					
	全体	そう思う	ややそう思う	あまりそう 思わない	そう思わない
自分は人を助けることが多い	3,000(人)	192	977	1,409	422
	100.0(%)	6.4	32.6	47.0	14.1
自分は人に助けられることが多い	3,000(人)	167	800	1,523	510
	100.0(%)	5.6	26.7	50.8	17.0

Q6. あなたは、社会がたすけあいにあふれていると思いますか					
	全体	そう思う	ややそう思う	あまりそう 思わない	そう思わない
	3,000(人)	86	720	1,714	480
	100.0(%)	2.9	24.0	57.1	16.0

Q7-1. 直近1ヵ月以内にあなたが行ったことがある行動として、あてはまるもの			
	全体	1ヵ月以内にしたことがある	1ヵ月以内にしたことがない
知らない人で困っている人を助ける	3,000(人)	431	2,569
	100.0(%)	14.4	85.6
寄付	3,000(人)	365	2,635
	100.0(%)	12.2	87.8
ボランティア	3,000(人)	251	2,749
	100.0(%)	8.4	91.6

Q7-2. あなたが、手助けをしなかった理由についてあてはまるもの								
※Q7-1「知らない人で困っている人を助ける」で「1ヵ月以内にしたことがない」と回答した方が対象。複数回答可。								
全体	そのような場面に 出会わなかった	知らない人を助けることに 抵抗がある	自分に利益が無い	急いでいた、忙しかった	本当にその人が手助けを必要としているのか 分からなかった	どのように手助けをしてい いのか分からなかった	手助けをする勇気が なかった	その他・覚えていない
2,569(人)	1,931	110	64	81	118	108	92	279
100.0(%)	75.2	4.3	2.5	3.2	4.6	4.2	3.6	10.9

Q8. あなたの、「たすけあいがあふれる社会」に対する共感について					
	全体	共感できる	やや共感できる	あまり共感できない	共感できない
	3,000(人)	652	1,664	474	210
	100.0(%)	21.7	55.5	15.8	7.0

「ENJOY たすけあい」プロジェクト

こくみん共済 coop は、理念である「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」にもとづき「たすけあい」をもっと気軽に楽しいものにできたなら、より過ごしやすく、あたたかい社会になるのではないか、という想いで「ENJOY たすけあい」プロジェクトを実施しています。

1. ステートメント(ENJOY たすけあいとは)

相手がたすかる。自分がうれしい。そんな「たすけあいを楽しむ文化」を。

「たすけあい」はちょっと難しい。照れくさかったり、恥ずかしかったり。

「相手は求めているのかも・・・」とか いろいろ考えてしまうものですよ。

「たすけあい」をもっと気軽に楽しいものにできたなら、
より過ごしやすく、あたたかい社会になるのではないか。

そんな想いで「ENJOY たすけあい」をスタートしました。

「たすけあいを楽しむためのヒント」を届けていきます。

お節介すぎる表現があったらゴメンナサイ。

たすけあいの輪をむすぶ、こくみん共済 coop から。

2. 取組内容

(1) 特設ページ (WEB) の開設

特設ページでは「たすけあいを ENJOY するための7つのヒント」やたすけあいに関するさまざまな記事を掲載しています。

■詳細はこちらをご覧ください

<https://www.zenrosai.coop/e-tasukeai/>



(2) ENJOY たすけあい JOURNAL

本プロジェクトに共感してくれるライターの方々と一緒に、さまざまな角度から「たすけあい」についての記事を発信していく WEB メディアです。

■詳細はこちらをご覧ください

<https://www.zenrosai.coop/e-tasukeai/journal/>



(3) note とのコラボレーション企画「#たすけてくれてありがとう」投稿コンテストの実施

文書や写真などの作品投稿・閲覧 WEB サービス「note」 とのコラボレーション企画として、たすけあいエピソードの投稿コンテスト「#たすけてくれてありがとう」を実施しました。

■詳細はこちらをご覧ください

<https://www.zenrosai.coop/zenrosai/topics/2019/24836.html>



※2/1～14 の期間「JR 渋谷駅ハチコーボード2」にメッセージ広告を掲出しており、本コンテストの受賞作品を紹介した冊子を設置しています。ぜひ、お手にとってご覧ください。

以上